



在宅総合支援センターだより

福岡県在宅医療連携拠点整備事業

創刊号

遠賀中間医師会病院 統括院長
在宅総合支援センター長

杉町 圭蔵

ご挨拶

おんが病院に「在宅総合支援センター」を立ち上げました。

遠賀・中間地区も高齢者が年々増加しています。お年寄りの方々に住み慣れた土地で生活して頂くために、福岡県から支援をいただき、おんが病院に「在宅総合支援センター」を平成27年10月に新設いたしました。この「在宅総合支援センター」では、常時、「在宅医療相談窓口」を設けて、地域住民の皆様方の悩み事の相談にあっているだけではなく、「訪問診療」「訪問看護」「訪問リハビリ」「看取り」「介護支援専門員によるケアプラン作り」などを行っています。さらに、「出前講座」「在宅医療機器の無料貸し出し」などを福岡県在宅医療連携拠点整備事業として行っていますので、どうかお気軽にご利用ください。

平成28年度 福岡県在宅医療連携拠点整備事業活動より こんなことしました！

住民の啓発：「在宅医療」についての出前講座を開催

遠賀中間地域の1市4町で計6回の出前講座を開催し、358名の方の参加があり、医療は病院だけではなく【在宅】でも受けることが出来、住み慣れた場所で自分らしく療養できることを知っていただきました。「在宅で受けることが出来る医療とは」「どうすれば受けることが出来るか」「費用はどのくらいかかるのか」等、この学びを超高齢社会を生き抜くための選択肢の一つとしてご活用いただければと考えています。「在宅看取り」もできることを知り、「人生の終末の過ごし方を考える機会となった」とのご意見もいただきました。



在宅医療機器(無料)貸し出しのための整備

9種類(右表)の在宅で使用できる医療機器を整備しています。緩和ケアに用いるポンプ類や血液ガスも在宅の場で測定できます。もの忘れ相談プログラム(タッチパネル式)は健康祭りなどのイベントで大活躍。行政機関にも貸し出しています。人気は吸入・吸引両用器です。

借用申込書はホームページからダウンロードできます。物品は在宅総合支援センターに取りに来て下さい。



無料貸し出し医療機器

- ポータブル吸引器
- ポータブル吸入・吸引両用器
- 点滴スタンド
- 自然落下式輸液ポンプ
- PCAポンプ
- カフティポンプ
- カフ圧計
- 血液ガス分析器(携帯用)
- もの忘れ相談プログラム

在宅医療相談窓口



遠賀中間地域・北九州市の病院や居宅介護支援事業所・地域包括支援センターから訪問診療・訪問看護ができる医療機関探しや支援方法の問い合わせ、又、ご家族からは在宅療養のご相談を承っています。ターミナル期の療養について、どうしたらよいのかと不安を抱えお出でになる方や褥瘡ができた方からケアマネジャーを通じてSOSが入り、訪問診療・訪問看護を要請しすぐに出動し、即対応できました。

※詳細は在宅総合支援センター
ホームページをご覧ください。

退院時連携促進事業



地域医療連携室・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・訪問看護ステーションのスタッフが一堂に会し「入退院時の情報共有シート」「訪問看護看護サマリー」を作成しました。要支援・要介護の方が医療機関に入院される場合は在宅での生活の様子を知らせ、医療機関からは退院時点での状況をケアマネジャーの方に療養生活の支援を引継ぎ、医療介護が切れ目なく行われる目的で平成29年4月より活用が始まりました。遠賀中間地域医療介護連携推進協議会のバックアップもあり、1市4町全域で住民の皆様の在宅療養生活支援が可能となりました。さらに、関係者のコミュニケーションがより密になり、支援の質の高まりに繋がると考えます。「情報共有シート」はホームページよりダウンロードできます。



在宅医療提供体制の検討

6月に「薬剤居宅療養管理」に関する連絡会を薬剤師・ケアマネジャー・訪問看護師の3職種間で開催し、「円滑な実施が行われるためにどう連携すればよいか」意見交換しました。各職種間相互の役割の理解が深まり、各職種が専門性発揮の出発点として確認し合いました。

3月には「高齢者施設等における看取りケアについて」の意見交換会を開催しました。訪問診療や訪問看護の利用による看取りケアの取り組みやスタッフ・家族指導についても関心が高く、活発な意見交換がなされ、一歩前進の場となりました。



在宅医療推進にかかわる研修会の開催

各職種のスキル向上と在宅医療チームにおける多職種連携推進のための研修会を開催しました。介護職を中心に「在宅医療を支える口腔ケア」、訪問看護職に対して「がん性疼痛コントロールと在宅緩和ケア」、ケアマネジャーに対して「糖尿病の基礎知識と治療の実際」、多職種に対しては「ホームホスピスを開いて人生の終焉を考える」や「脳卒中後遺症で認知症を合併した患者の支援」についての事例検討を行い、『他の職種の機能が分かった』『医療と介護の視点で話し合えた』等と関係性も深まり、医師からも『またして欲しい』と好評でした。



10月 口腔ケア



1月 糖尿病の基礎知識



2月 多職種連携



2月 人生の終焉を考える

在宅医師同行訪問による人材育成

訪問診療や訪問看護の場に同行し、在宅医療の理解を深める機会としています。医師や訪問看護師・退院調整看護師・MSW等37名の方々が行きつけられました。在宅での医療や療養生活のイメージ化、又、在宅移行にあたっての退院前準備の重要性など学びとなっています。

平成29年度 在宅医療連携拠点整備事業活動予定

在宅看取り体制の整備及び住民啓発と在宅医療チーム連携の推進、在宅総合支援センターの活動を周知し在宅医療相談の利用度を高めることを重点に取り組みたいと考えています。

「在宅医療について」の出前講座開催!

地域の公民館やサロンなどで15人程度集まれば伺えます。座談会ふう気軽に学べ、医療を受ける時の知恵の一つとして活用できます。ぜひ、お声かけください。

遠賀中間地域医療介護連携推進協議会活動

在宅医療・介護連携推進事業を円滑に推進する目的で1市4町の行政及び医療・介護関係団体等が協議会を設置し、多職種連携による方策の決定・医療介護における情報の共有・事業推進の連絡調整などを行っています。平成28年度は本会2回と専門部会4回が開催されました。

年に3回の発行を考えています。原稿依頼の折はご協力よろしくお願いたします。(担当：新田)

発行：遠賀中間医師会在宅総合支援センター
TEL 093-281-3100 FAX 093-281-3101

URL：<http://www.onnaka-med.or.jp/zaitaku/>

